定された地下室にはいる。それでありますから實際に機械を止めてしまふ時間は極めて少いのであります。昨年の三月に私はこの工場の水壓機械の調査をしましたが、空襲によつて水壓機が止まつた時間は全操業時間の約一パーセントに過ぎなかつたのであります。これは明らかに小規模の空襲に對しては殆んど工場は運動をストップしなかつた、本當に危險が迫らなければ運轉は止めないためであると思ひます。日本ではまた空襲の回數が少いし、まだ設備も整つてをらないのでありますが、戰爭がいよ〳〵最後の段階に入つて毎晩でも空襲があるといふやうなことになつた場合、皆んながそのたびに待避してゐたのでは生産力はガタ落ちに落ちるわけであります。この間軍需省で話があつたのでありますが、空襲警報が發令されますと某工場においては水壓機械のエアーを抜いてしまふといふ話があつたのでありますが、これはたいへんな間違ひであります。普通のアツキユムレーターに壓力を詰込むのに一週間くらゐかゝる。空襲のたんびに抜いてをつたんでは一週間くらゐ休まなければならないといふことになり、毎晩空襲があつた場合は絶對働く機會がないといふことになります。私の行つてゐた工場ではアツキユムレーターのエアーを抜くなどといふことは全然やつてゐないのであります。しかしながらアツキユムレーター自身は丈夫なもので相當の爆風に堪へるといふことは確かでありまして、爆風で破壞するやうなことはないと思ひますが、直撃彈に近い爆彈が落ちた場合はエアーを抜いても抜かなくても被害があることも確かであります。ドイツの現狀では全然空氣を抜いてをらないのであります。

復舊工作と食糧補給

さて以上は空襲を受ける前の準備、若くは受けた時の活動でありますが、空襲を受ければ必ず被害がある。この被害を受けた場合の準備もしなければならない。ドイツの工場では斯ういつたことまで注意して、復舊が非常に早い。被害を受けるのはまづ建物である。爆彈が相當遠方に落ちても硝子くらゐ壞れます。たとへば一トン爆彈の威力を申上げますと、一トンのものが落ちた場合、百メートル以内の屋外の地上にをつたものは死ぬ。その死ぬのは腦溢血、心臓、肺胞が破裂して死ぬのであります。屋内にをつた場合は向ふの建物で五十メートル以内に落ちたら死ぬ。地下室にをればこの限りにあらずといふことになつてをります。しかし地形の關係で案外近くに落ちても爆風を受けないで助かつた例もあります。